

熱中症から自分をまもるために

二島中学校の生徒の皆さん、保護者の皆様、校長の児島です。今年の梅雨明けはとても早く、7月になったばかりですが、すっかり夏本番です。地球温暖化の影響でしょうか、連日、30度を超える真夏日が続き、熱中症が本当に心配な時期になりました。熱中症は、時には命にかかわる大変な病気です。正しく知って、適切に予防できるようになってください。今年も、二島中学校では皆さんが、安全・安心に学校生活を送るために、次のような暑さ対策を実施します。

- 登校時は、体操服でも可とする。(ただし、汗をかいたときの着替えは、体操服か制服)
- 登下校中の日傘の使用や、家にある帽子的着用も可とする。
- 授業を体操服で受けても可とする。(エアコンで寒く感じるときは、冬の体操服着用)
- 今まで通り、授業中の水分補給も可とする。(マナーを守りましょう。)
- 家にある保冷剤等を学校に持ってきて使用することも可とする。ただし、保冷剤をタオル等に巻くなどしてして、直接肌にあてないように。
- お茶などの水分やタオルを必ず準備するように。

環境省が発表する暑さ指数(WBGT)の八幡での当日午前7時での予測値が、33以上になった場合は、全市一斉で以下の活動は中止です。部活動は原則中止ですが、大会は主催者の判断とします。

【全市一斉中止の内容】

- 体育の授業(運動を伴う学習)の中止
- 部活動の活動(運動を伴う活動)の中止(空調設備がある場所は除く)
- 空調設備がない場所での活動中止(特別教室での授業、文化系部活動など)
- 休み時間の運動を伴う遊びの中止

○ 暑い中、生徒総会が行われました

6月30日には、体育館で生徒総会が開催されました。全校生徒はもちろん、生徒会執行部のメンバーと議長、記録、代議委員会が中心となり、話し合いのルールに基づいて総会が行われました。

各クラスから出された意見や校則についての要望に対して、自分の意見を堂々と言えることは本当に素晴らしいと思いますし、それに対して誠実に答えている生徒会執行部メンバーの態度からは、活動に対する真剣さ、熱意が伝わってきました。その中で、校則についての議論もありました。

私は、校則とは「学校をもっと良くする」ためにあるものだと思います。「良い」というのは、もちろん生徒の皆さんにとってですが、同時に先生方や保護者の皆様にとっても「良い」ものでなくてはならないと思います。私としては、「校則」をとおして、皆さんに社会のルールやマナーを身に着けるとともに、「個性とは何か?」についても考えてほしいと思っています。

**【真剣に討議する発言者と執行部】**